

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうさくら吹田教室

保護者等数(児童数) 20名 回収数 14 割合 70.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	0	0	0	・いろいろな活動ができる広いスペースだと思う	活動スペースを区切り、メリハリがつけられるような環境設定をおこなっている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	4	・ひとりひとりに目が行き届くような配置になっていると思う	より専門性が深まるよう、定期的な研修等を実施していく
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	0	0	4		バリアフリーかつ安全な環境づくりに努めている
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	0	0	0	・特徴や課題を踏まえたうえで声掛けや取り組みを行っている	一人ひとりのニーズに合った支援をおこなっていく
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	0	・毎月のプログラムもいろいろ、季節などの行事も取り入れ、工夫されている	一か月の中で、同じような取り組みばかりにならないようにプログラムの変更をおこなっている
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	9		今後は交流会や地域の児童との交流もできたらと思う
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	0	0	・入所時に説明いただいた	契約時、またご質問があった場合には再度説明をおこなっている
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0	0	・日頃の通所時や定期的にサービス計画を作成していただき伝え合いがきている	送迎時や面談時に普段の様子などの聞き取りもおこない、普段の支援にも取り入れている
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	1	0	・面談も希望で取っていただけ	面談時だけでなく、保護者との連携を深めていく
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	5	5		定期的な保護者会や父母会などで、保護者同士の連携や交流ができるようにしていきたい
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2	0	6		利用者からの苦情などは、迅速に対応し、再発防止に努め職員同士の情報共有を今後も徹底する
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	0	1	・ラインなどで伝えてもらってる	連絡手段としてLINEを活用し、共有漏れが起きないように今後も配慮していく
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	0	1		HPでの更新も今後は検討していく
	14 個人情報に十分注意しているか	12	0	0	2		鍵付きロッカーにて保管している
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1	0	3	・緊急時や感染症などプリントでいただいた	書面での提示と口頭でも説明はおこなっている また、今後は定期的な情報発信を心がける
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	0	10		定期的に避難訓練や避難の知識の勉強等を取り入れていく
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	2	0	0	・いつも通うのを楽しみにしており喜んで通えている	今後も楽しく活動ができるように、取り組み内容の創意工夫をおこなっていく
	18 事業所の支援に満足しているか	12	1	0	0	・いつも丁寧に見ていただき、様子も教えていただきありがとうございます	今後も満足していただけるようにしていく

179

15

9

45

72%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら吹田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0		適切になるよう配慮等を工夫している
	2	職員の配置数は適切である	10	0		人員が不足する場合は、児童の受け入れ人数の制限をおこない、安全に配慮して療育をおこなっている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	0		現状、段差等はない状態である
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0		日々の活動の振り返りや、定例会にて共有報酬の振り返りにて共有をおこなっている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		定期的な実施はできていないため、今後検討していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		現状実施できていないが、今後取り組んでいく
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	4		社内研修を実施し、職員の情報更新とスキル向上を目指していく
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0		事前聞き取りやアセスメントシートを活用し、ニーズに応じた支援計画を作成するように努めている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		アセスメントシートを活用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		具体的な内容の相談・立案を複数人でおこなっている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		日ごとで活動内容は変更している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1		日ごとで活動内容は変更している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0		個別活動・集団活動と分けて活動を実施している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0		朝礼にて共有をおこなっている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1		日々の指導案を作成し、利用終了後に振り返りをおこなっている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		日々の指導案を作成し、利用終了後に振り返りをおこなっている
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0		定期的に、更新をおこなっている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0		活動内容は、複数組み合わせをおこなっている
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		児童発達支援責任者や、実際の様子をしっかり見ている職員が同席し、会議に参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0		送迎時間の共有や確認、また保護者との連絡も、おこなっている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1		現状、医療的ケアの必要な児童は在籍していない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0		日々の活動などの共有をおこなっている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		現状、利用者の中で学校卒業者はできていないが、今後そのような状況があれば積極的におこないたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		研修に参加したり、情報共有をおこなっている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		現状、交流はできていないが今後できる範囲で進めていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1		現状参加はできていないが、今後検討していく
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0		送迎時など活動の様子や家庭での様子などの聞き取りをおこなっている	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1		現状、完全実施はできてはいないが今後実施できるよう検討していく
--	----	---	---	---	--	---------------------------------

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に説明し、質問等があれば都度説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	希望面談等をおこない、情報の共有に努めている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	今後も保護者会等を実施する方向で検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情や要望があった場合は、迅速に対応することを心がけ、内容の共有をおこなっている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	月1回の通信やプログラム表の作成、また利用時の様子の写真の送付をおこなっている
	35	個人情報に十分注意している	9	0	鍵付きロッカーにて保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	個人の特性や発達段階に応じて臨機応変な対応をおこなっている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	今後、検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	災害時マニュアルで職員の共有を徹底し、今後は社内研修等で訓練の実施をおこなっていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	定期的に社内研修を今後もおこない、外部研修への参加もおこない、情報更新をおこない社内共有を徹底していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	本人や他児童に危害が加わりそうな場面では、一時的に身体拘束をおこない場所を変えたりして話をするようになっている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	アレルギー対応については聞き取りにて把握しているが今後は医師の指示書をいただき、より安全な環境で過ごせるようしていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	常日ごろから、児童の活動に注目し、少しでもヒヤッとする事があった場合には、書面に記入後全体共有をおこなっている